

『小手指方言かるた』に学ぶ

2019.1.18 民話の会 仲山 富夫

小手指地区でかつて使われていた言葉をまとめた『小手指方言かるた』が、昨年「小手指まちづくり協議会」から発行されました。作者は「小手指をよく知る活動の会」の小暮勝彦氏です。

「孫に方言が通じない寂しさを感じ、十数年前から、八十代の高齢者が話す小手指弁を書きため、すでに千語以上集まった」「かるたを介して方言に親んでもらえれば」とメンバーの協力を得てかるたに仕上げたとのことでした（『ショッパー 2019年1月11日号より』）。

私達「民話の会」では、所沢の民話を学んでいます。が、方言をうまく言えずに頭をかきかきお互いに顔を見合わせて笑い転げることがたびたびです。それがまた楽しいのです（所沢生まれの所沢育ちは女性一名だけです）。

私達の弘法大師さまは「これ、めどっこ、あにかしるしてもしておけや」「こんだー、まっとちがう所みてみんべー」「こんだー、村の人たちの力をかりて掘ってみろや」「ぜってい水がでんだんべー」と所沢語で話してくれました。

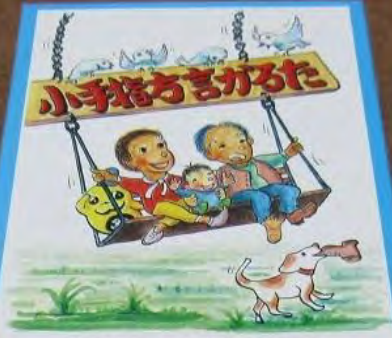
村人は「お坊様はペーさらばーさらこいてんじゃねいか（いいかげんなこと言っている）」といいました。それを聞いていた学者風の男性が私のところへ来て「弘法大師が所沢言葉を話すのはおかしい」とクレームをつけました。

「そうですね（あなたに民話の楽しさなんてわからんだろうなと思いつつ）。弘法大師さまが所沢に来たかどうかは定かじゃないんですよ」と言ったら、口をとがらせて行ってしまった。

教育委員会発行の『ところざわ方言録』と、今回の『小手指方言かるた』は、私達民話の会の貴重な資料です。

『小手指方言かるた』の一部を写しましたので紹介します。





「地域のことは地域で決め、地域で解決」
小手指まちづくり協議会

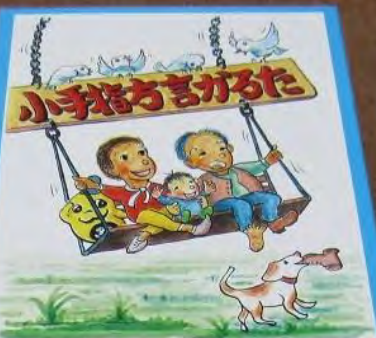
ろ



ろ
くな服

ねえが心はこころはないが

温あつたけえ(あたたかい)



「地域のことは地域で決め、地域で解決」
小手指まちづくり協議会

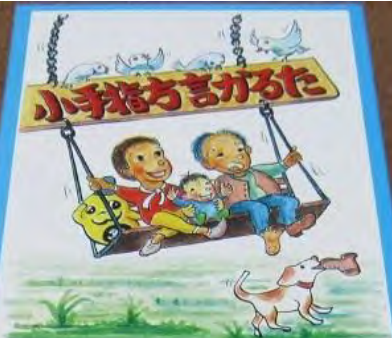
さ



さ
ぶい冬(さむいふゆ)

草木くさきは耐たえて

根ねを伸のばす



「地域のことは地域で決め、地域で解決」
小手指まちづくり協議会

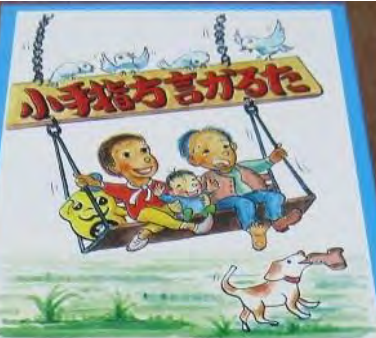
わ



わ
きやあねえ(かんだんだ)

苦くるしい時はとき

笑わらうのさ



「地域のことは地域で決め、地域で解決」
小手指まちづくり協議会

く



く
ちくなる(はらいっぱい)

うめえ団子だんごの(おいしい)

てんこ盛もり(やまもり)



「地域のことは地域で決め、地域で解決」
小手指まぢづくり協議会

ら
ちあかねえ (うまくいかない)
行った先々 (いってゆくのち)
定休日 (ていきゅうび)



「地域のことは地域で決め、地域で解決」
小手指まぢづくり協議会

ふ
んずけた (ふみつけた)
麦は負けずに (むぎはまけずに)
強くなる (つよくなる)

私達「民話の会」は、2月に6年目を迎えます。
私達は現在、民話9話、昔話6話を語り続けています。オリジナル民話『河童のお伊勢参り』ができました。オリジナルソング『民話はみんなの宝物』を作りました。『民話由来地マップ』ができました。
これらの資料は苦勞して作り上げてきた私たちの大切な宝物です。